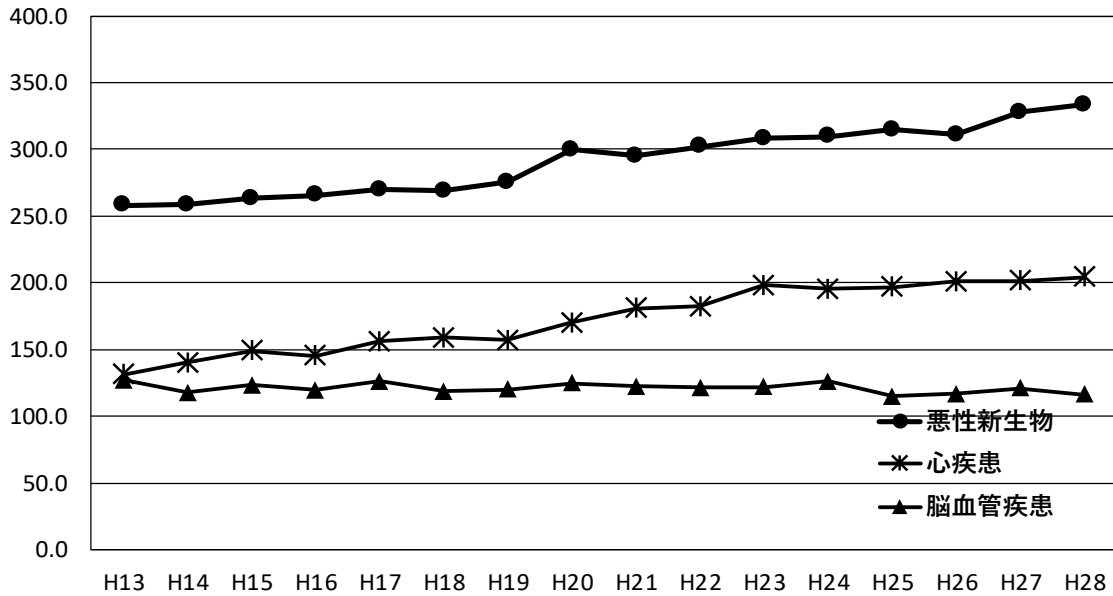


第2章 宮崎県におけるがんによる死亡・がん罹患の状況

1 死亡の状況

宮崎県では昭和57（1982）年以降、がんが死亡原因の第1位となっています。

図1 宮崎県における三大生活習慣病の死亡率の推移(単位:人口10万対)

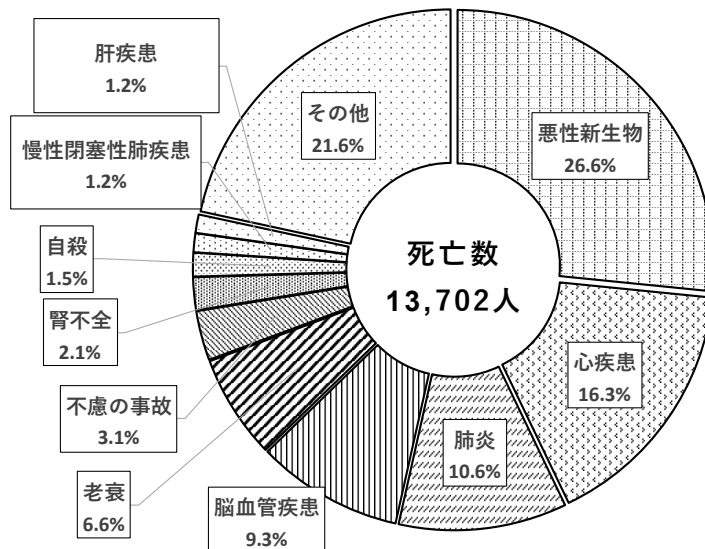


出典:宮崎県福祉保健部「衛生統計年報」

平成28(2016)年のみ厚生労働省「人口動態統計」

平成28（2016）年の死亡者数13,702人のうち、約3割に当たる3,643人ががんで亡くなっており、がん対策は重要な課題となっています。

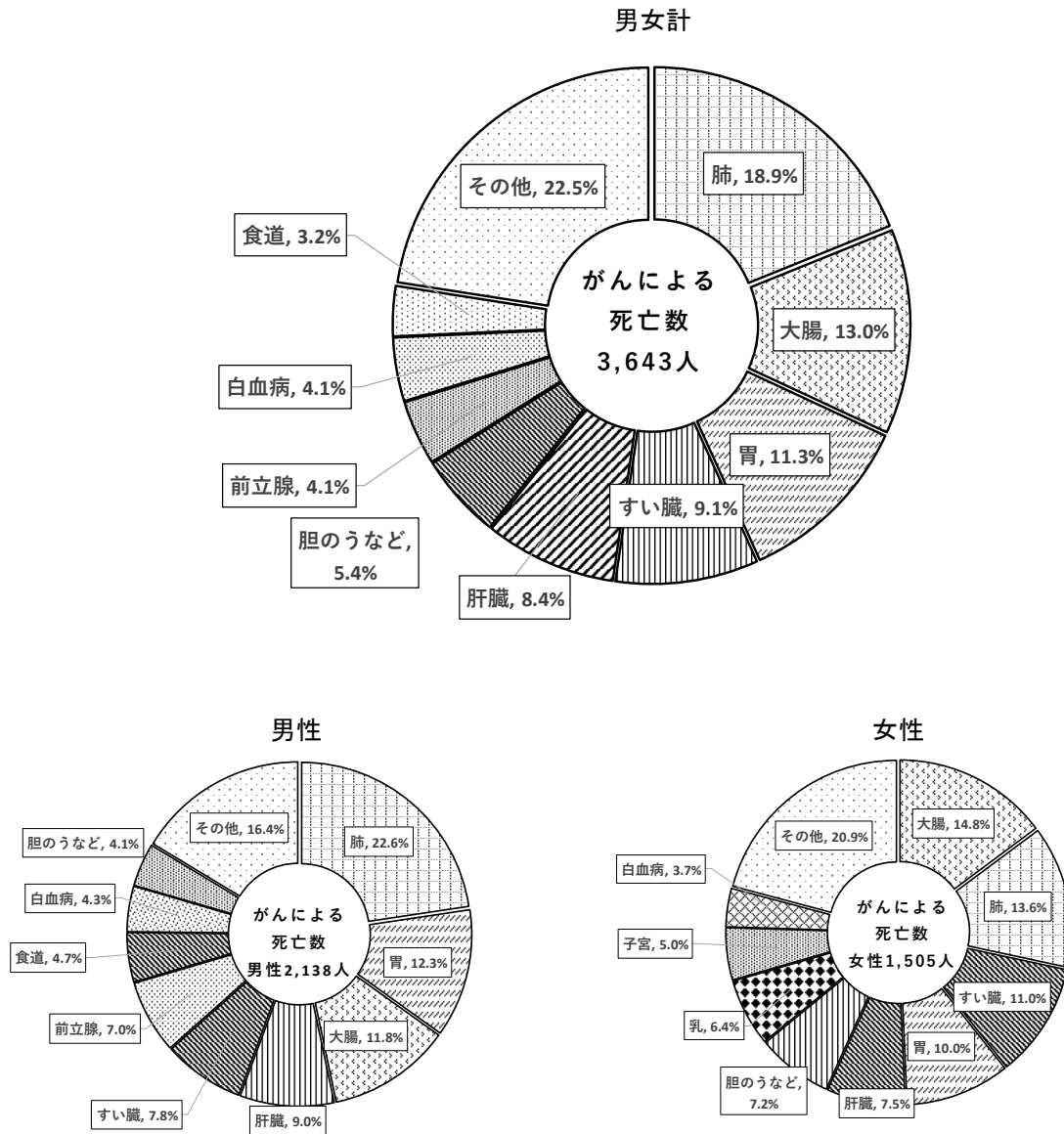
図2 死因別死亡割合(平成28(2016)年 宮崎県)



出典:厚生労働省「人口動態統計」

平成28（2016）年のがんの主な部位別死亡数を見ると、男性は肺（22.6%）、胃（12.3%）、大腸（11.8%）、肝臓（9.0%）、すい臓（7.8%）女性は大腸（14.8%）、肺（13.6%）、すい臓（11.0%）、胃（10.0%）、肝臓（7.5%）の順となっています。

図3 がんの部位別死亡割合(平成28(2016)年 宮崎県)



出典:厚生労働省「人口動態統計」

75歳未満年齢調整死亡率の推移を全国と比較すると、年によって変動はありますが、概ね全国より低い状況にあります。

しかし、肝がんや子宮がん、白血病を見ると、全国と比較して高い状況にあります。

なお、75歳未満年齢調整死亡率を指標として用いている理由は、年齢調整率を用いることで高齢化の影響を除去し、75歳以上の死亡を除くことで壮年期の死亡の減少を高い精度で評価するためです。

図4 75歳未満年齢調整死亡率の推移の全国比較(H19～H28 全部位・男女計) (人口10万対)

全部位	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)
宮崎	80.5	88.7	83.5	82.0	79.4	80.1	78.4	73.1	78.2	78.8
全国	88.5	87.2	84.4	84.3	83.1	81.3	80.1	79.0	78.0	76.1
全国順位	9	33	25	21	14	22	22	5	30	34

出典:国立がん研究センター「がん情報サービス」(以下、図11まで同じ。)

(順位は率の低い順。以下同じ。)

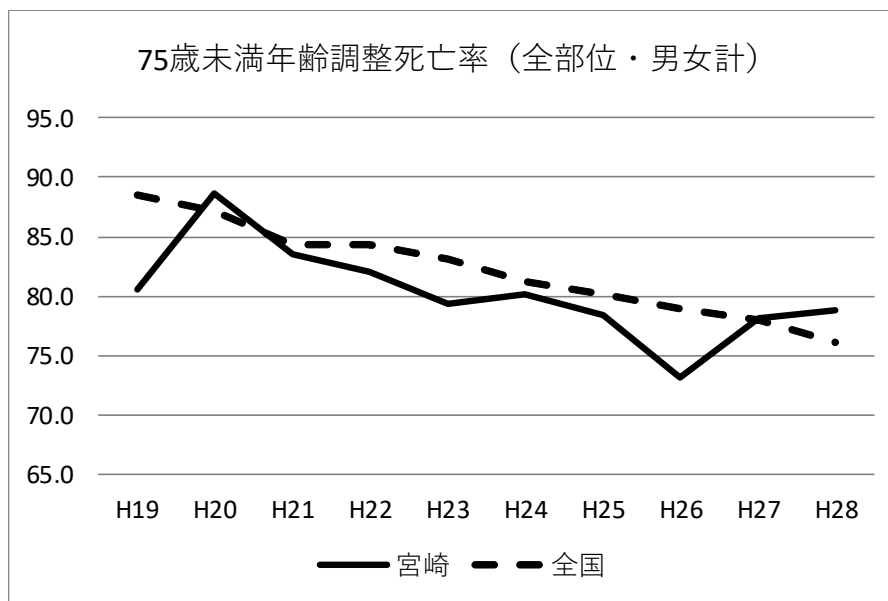


図5 75歳未満年齢調整死亡率の推移の全国比較(H19～H28 胃・男女計) (人口10万対)

胃	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)
宮崎	9.0	10.0	10.4	9.8	9.7	8.9	9.0	7.5	9.2	9.0
全国	12.7	12.2	11.8	11.4	11.0	10.5	10.1	9.6	9.1	8.5
全国順位	3	6	10	7	10	7	9	4	22	31

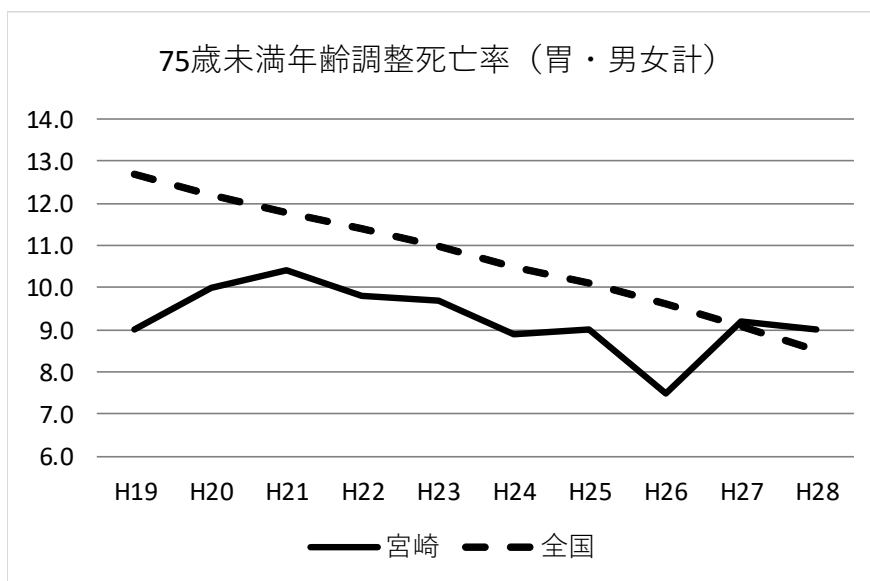


図6 75歳未満年齢調整死亡率の推移の全国比較(H19～H28 大腸・男女計) (人口10万対)

大腸	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)
宮崎	8.8	7.9	9.4	8.9	9.0	8.7	9.4	10.1	8.6	11.1
全国	10.9	10.5	10.1	10.3	10.5	10.5	10.4	10.5	10.5	10.3
全国順位	5	3	18	4	10	8	11	19	4	40

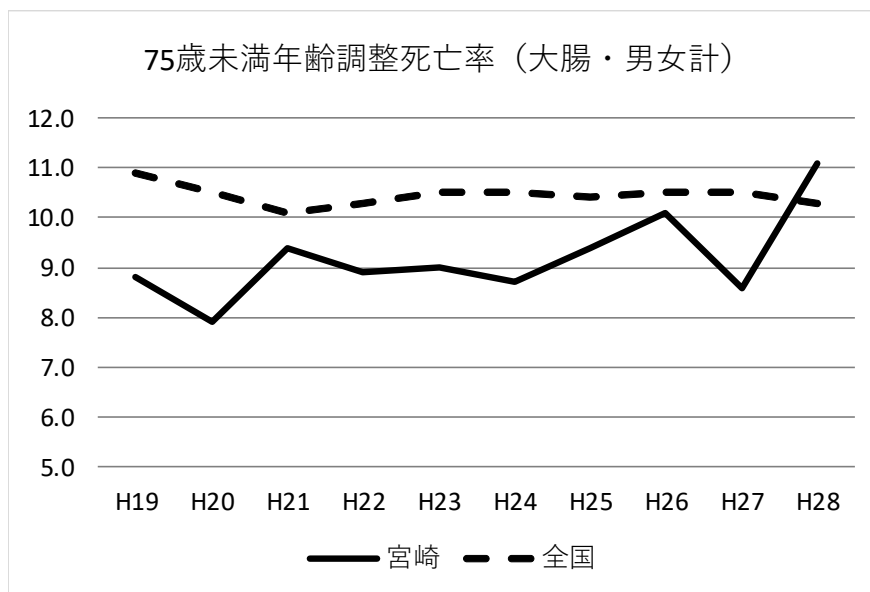


図7 75歳未満年齢調整死亡率の推移の全国比較(H19～H28 肺・男女計) (人口10万対)

肺	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)
宮崎	14.1	16.2	13.3	14.6	12.4	12.2	13.4	12.5	13.8	12.7
全国	15.3	15.3	14.9	15.1	14.9	14.8	14.7	14.5	14.5	13.8
全国順位	16	41	10	26	3	4	12	5	17	14

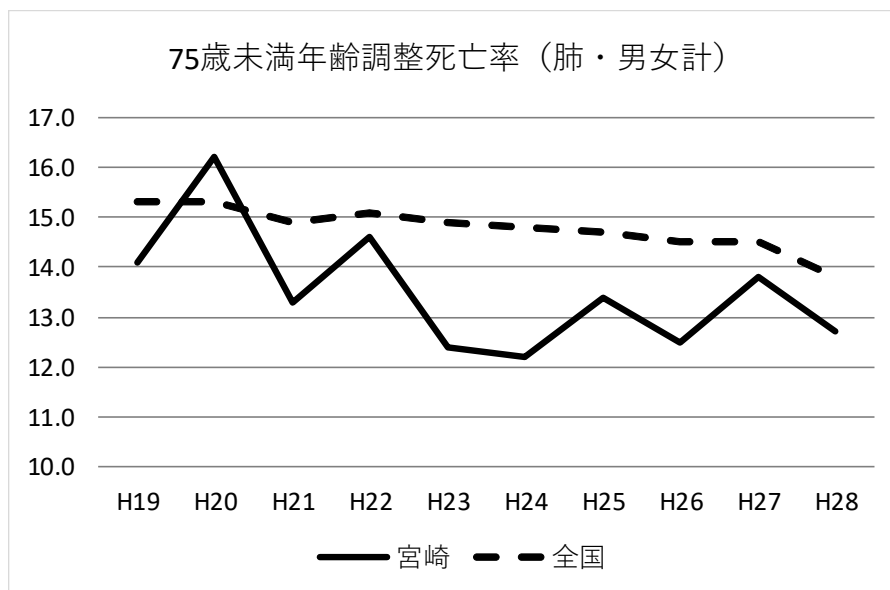


図8 75歳未満年齢調整死亡率の推移の全国比較(H19～H28 乳・女性) (人口10万対)

乳	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)
宮崎	9.5	9.9	8.8	9.7	7.4	8.5	8.9	6.9	7.8	7.4
全国	10.5	10.8	10.6	10.8	10.8	10.2	10.7	10.5	10.7	10.7
全国順位	20	20	7	15	2	8	11	2	2	2

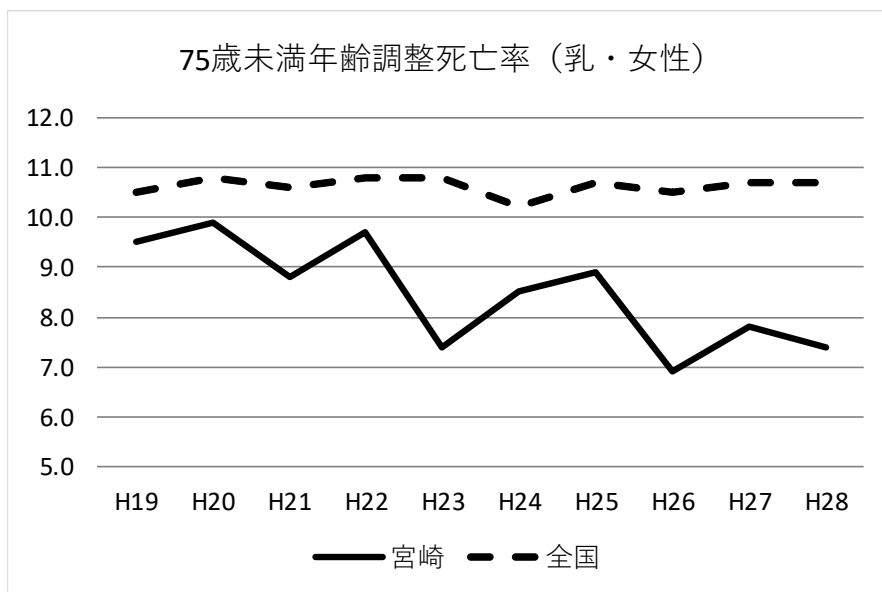


図9 75歳未満年齢調整死亡率の推移の全国比較(H19～H28 子宮・女性) (人口10万対)

子宮	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)
宮崎	4.7	5.5	4.3	6.0	6.1	5.1	6.5	5.5	5.7	5.6
全国	4.2	4.4	4.2	4.5	4.6	4.6	4.5	4.9	4.9	4.7
全国順位	36	47	30	44	46	38	47	40	41	41

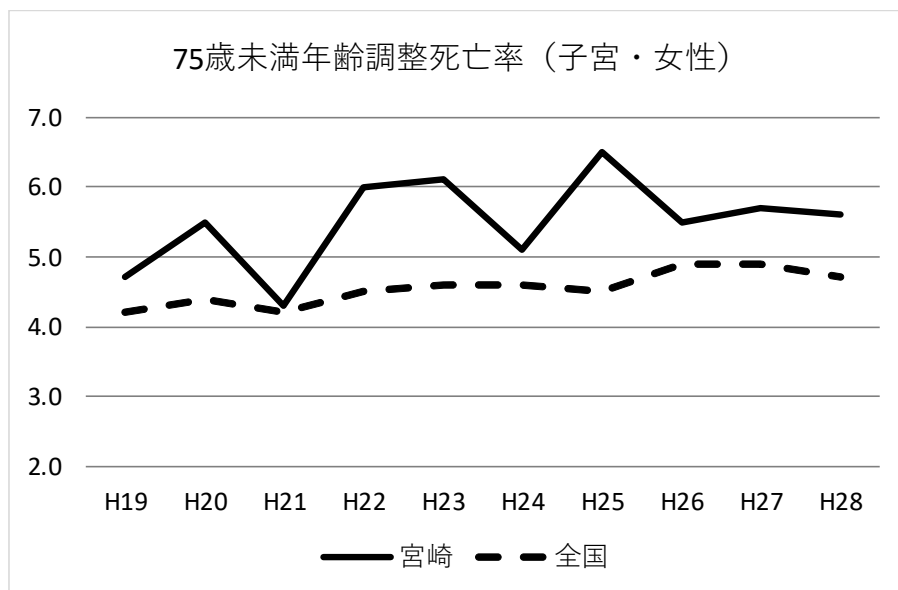


図10 75歳未満年齢調整死亡率の推移の全国比較(H19～H28 肝・男女計) (人口10万対)

肝	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)
宮崎	8.8	10.7	9.7	8.3	6.3	9.3	6.8	6.7	7.4	6.0
全国	9.3	8.7	7.9	7.6	7.0	6.4	6.0	5.6	5.4	5.1
全国順位	22	41	37	32	18	45	32	36	43	36

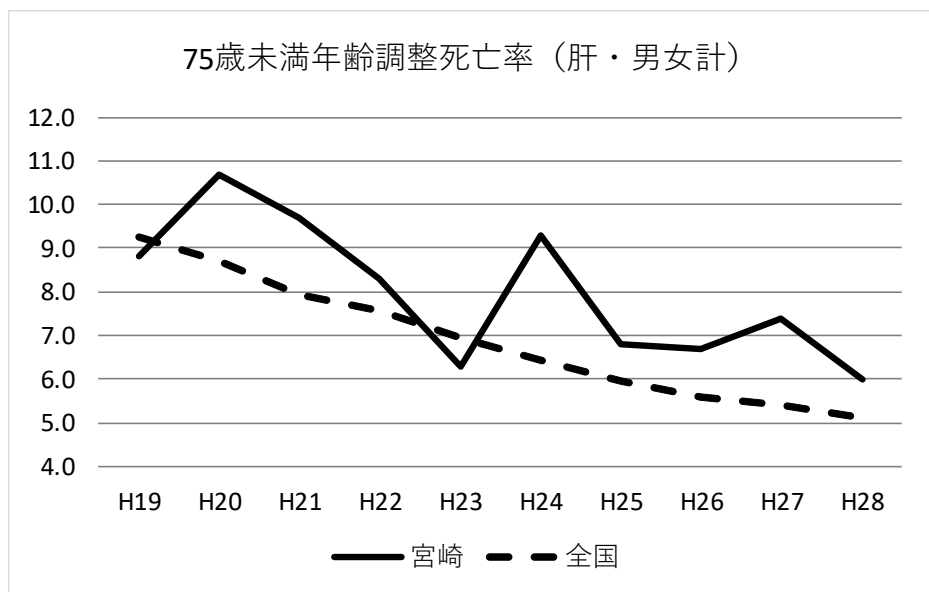
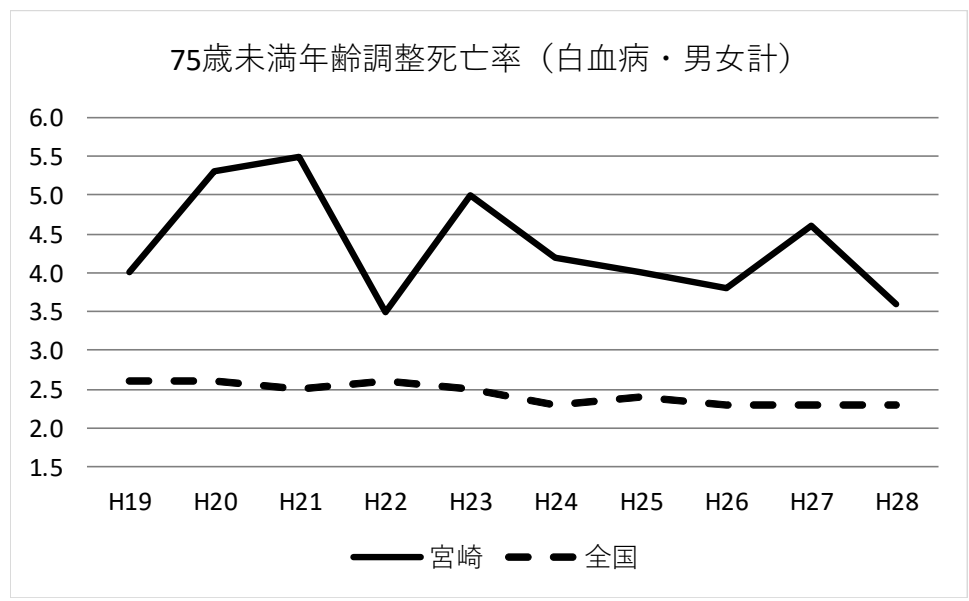


図11 75歳未満年齢調整死亡率の推移の全国比較(H19～H28 白血病・男女計) (人口10万対)

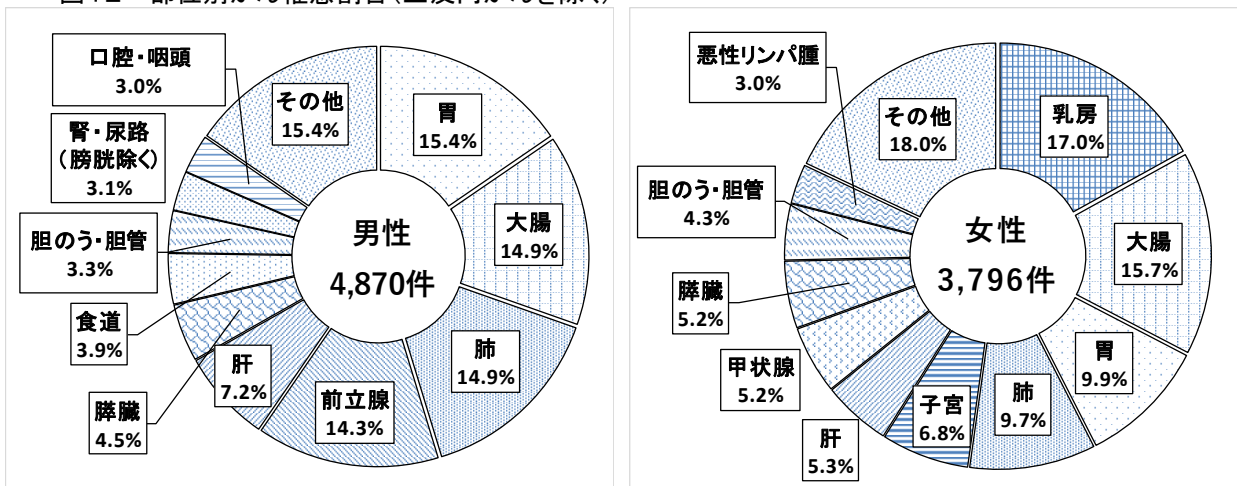
白血病	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)
宮崎	4.0	5.3	5.5	3.5	5.0	4.2	4.0	3.8	4.6	3.6
全国	2.6	2.6	2.5	2.6	2.5	2.3	2.4	2.3	2.3	2.3
全国順位	43	46	47	41	46	45	45	46	46	44



2 罹患の状況

- 宮崎県では、平成25（2013）年に地域がん登録を開始しました。
平成25（2013）年に本県で新たにがんと診断されたのは8,666件（男性4,870件、女性3,796件）でした。
- がん罹患数を部位別に見ると、男性では胃、大腸、肺、女性では乳房、大腸、胃の順に多くなっています。

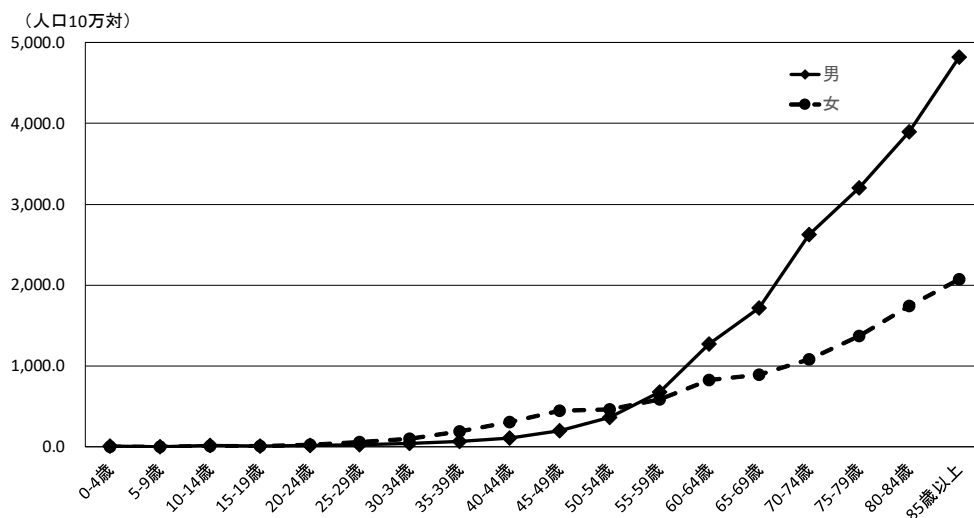
図12 部位別がん罹患割合(上皮内がんを除く)



(出典:平成25(2013)年宮崎県地域がん登録)

- 全部位について性別年齢階級別がん罹患率を見ると、15～54歳までの年齢階級では男性より女性の方が罹患率が高く、60～64歳以上の年齢階級では女性より男性の罹患率が約2倍高い状況でした。

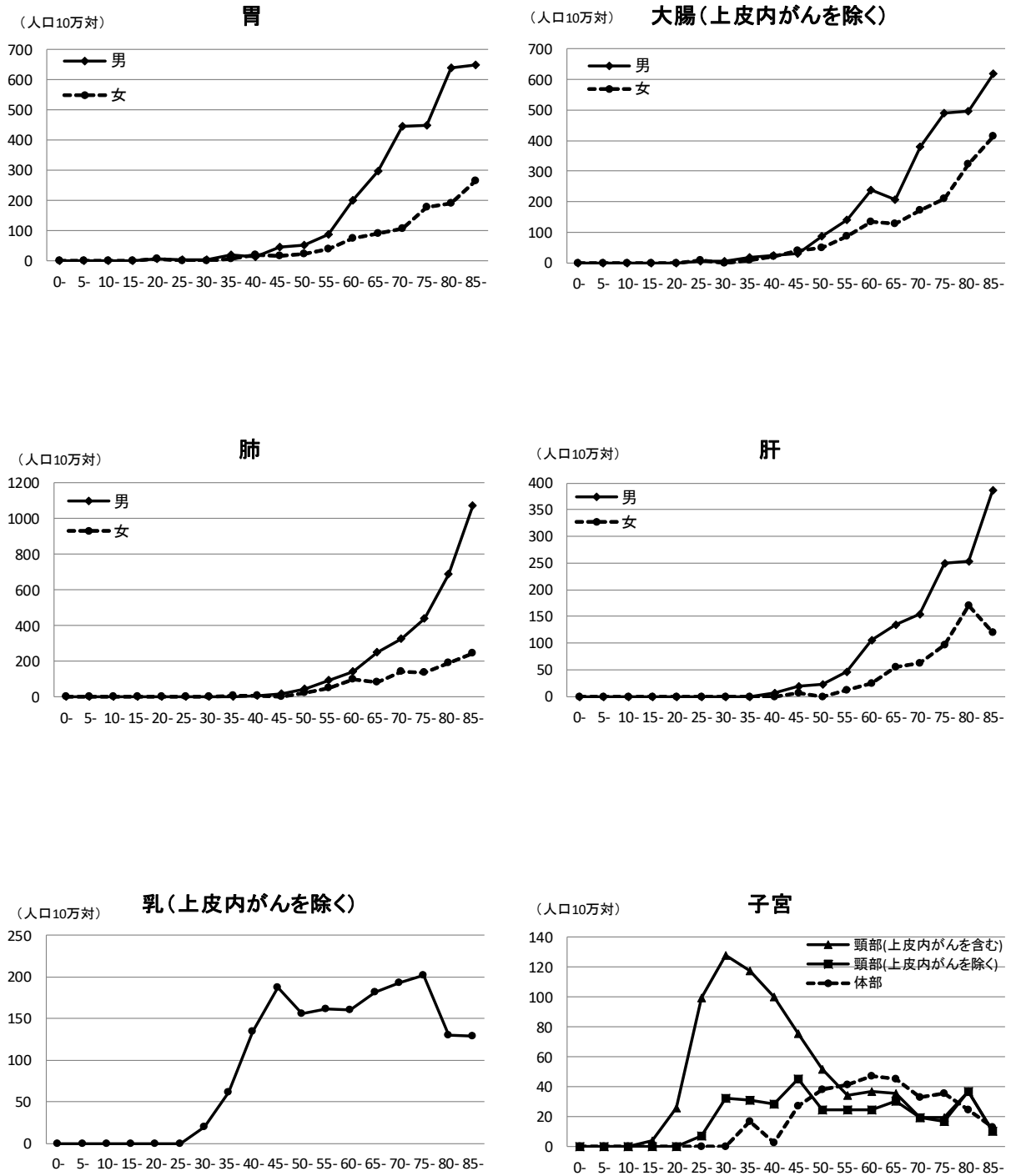
図13 宮崎県における性別年齢階級別がん罹患率(全部位・上皮内がんを除く)

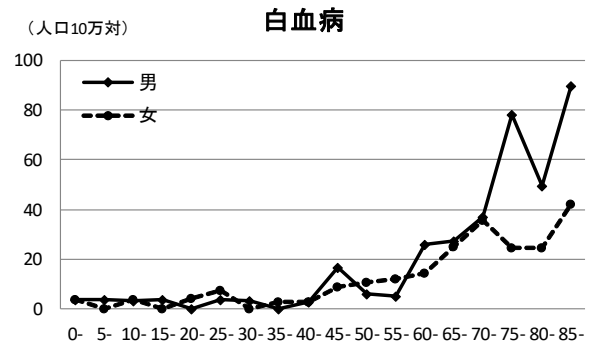
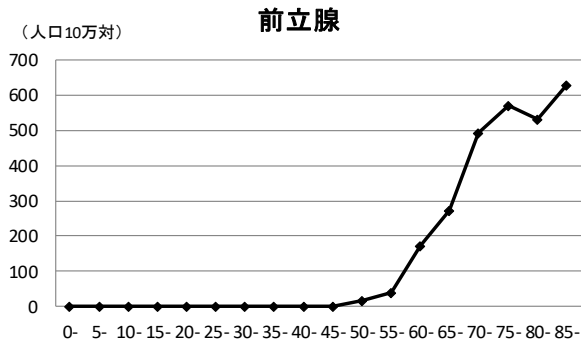


(出典:平成25(2013)年宮崎県地域がん登録)

- 主な部位について年齢階級別がん罹患率を見ると、多くの部位で40歳頃から罹患率が高くなっていますが、乳がん、子宮がんでは20歳代から罹患率が高くなっています。
- 白血病は、15歳未満の子どもなど若年層でも一定の罹患が見られます。

図14 部位別に見た年齢階級別がん罹患率





(出典:平成25(2013)年宮崎県地域がん登録)

図15-1 部位別年齢調整罹患率(男性・上皮内がんを除く)

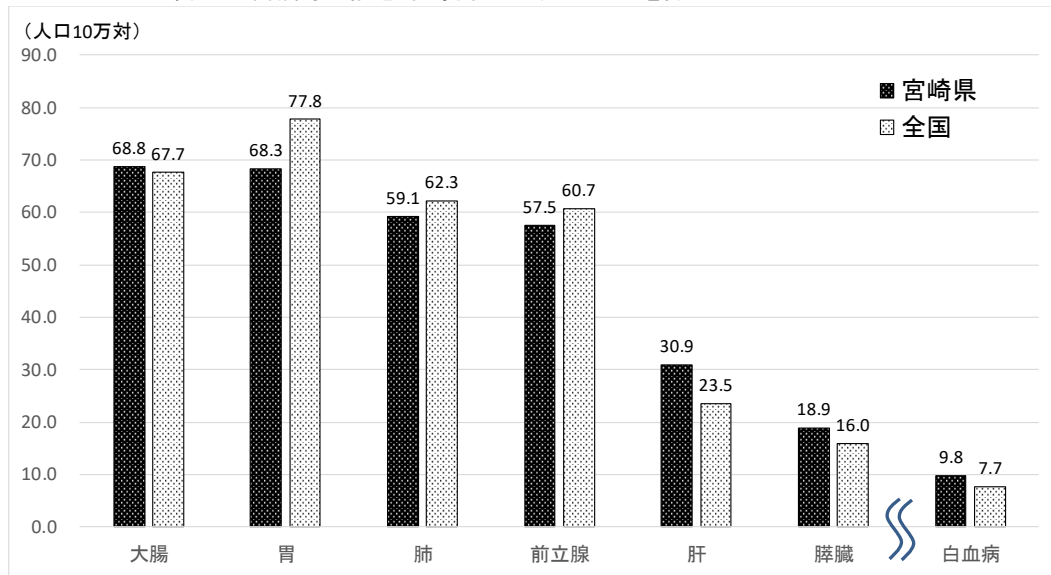
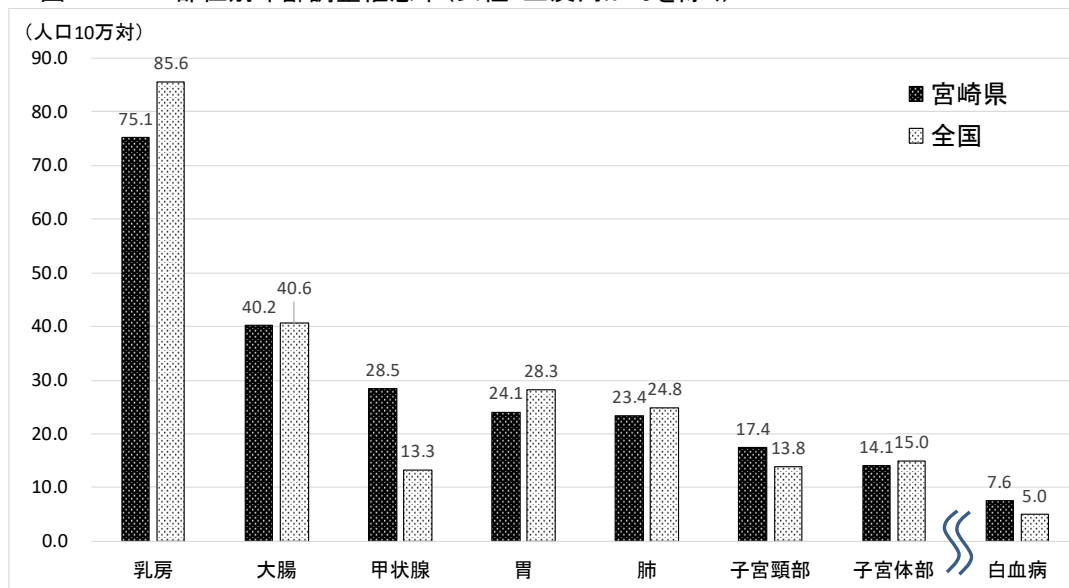


図15-2 部位別年齢調整罹患率(女性・上皮内がんを除く)



(出典:国立がん研究センター「全国がん罹患モニタリング集計 2013罹患数・率報告」)